

事業所名 グループホームあかり
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成19年 8月16日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A: 現職 高等学校非常勤講師
資格・経験 看護師、助産師、社会福祉士、福祉住環境コーディネーター
B: 現職 社会福祉法人生活指導員
資格・経験 身体障害者生活指導員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・JR大元駅やバス停に近く、周辺には商業施設も多く、生活に便利な場所に立地する。
- ・「意思の尊重、リスク管理、尊厳の保持と生活の質の向上」を運営方針としているが、方針に沿ったサービスが提供されているホームであると感じた。また、職員も熱意を持って取り組んでおり、プライドを持って働いている。
- ・認知症ケア専門士の資格を有する職員が2名おり、介護福祉士をめざしている職員もいる。どの職員も、向上心を持って取り組んでおり、サービスの質の向上に向けて、職員間の能力の差をなくす努力をしている。
- ・グループホーム建設には、管理者の有する福祉住環境コーディネーターの資格が要所に生かされている。手すりの高さ・向き、階段のステップ、廊下の広さなどに配慮が見られる。天井が高く、自然の光がよく採り入れられる、明るく開放的な建物である。
- ・入居者一人ひとりが役割を持って生き生きと生活しており、職員がそれを見守っている。共に楽しみながらゆったりと生活している。
- ・開所に当たっては、入居者を一人ずつゆっくりと受け入れ、馴染んでもらえるように配慮した。現在7人が入居しており、落ち着いた穏やかな生活が営まれている。
- ・入居者はこのホームでの生活に満足し、入居後、生き生きと生活している入居者に、家族も安心が得られている。
- ・散歩の機会などには、地域の方と挨拶を交わし、気軽に遊びに来てもらうように働きかけている。高齢者を連れて遊びに来られる方もあり、グループホームの存在が地域に浸透しつつある。

特に改善の余地があると思われる点(記述)
・開所して10ヶ月のグループホームであるが、管理者の熱意がよく伝わってきた。今後は、カンファレンスや職員会議を定期的開催し、さらにサービスの質の向上を目指すことを期待する。
・申し送りや伝達の方法については、重要な事項がすべての職員に伝わるような伝達方法と、伝わったかどうかを確認できるような仕組みについて、検討されることを期待する。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者一人ひとりが一日一日を楽しく過ごせるような支援をめざしている。 ・何もしなくても一日は過ぎるが、必ず生活に潤いや変化があるような生活を支援していくことをめざしている。 ・入居者にもう一度あかりを灯させて、余生を輝かせてあげたいと願っている。入居者も職員も、明るく、楽しく、穏やかに過ごせ、良い人生であったと思えるような生活をめざしている。 ・職員みんなが同じように支援できることをめざしている。たとえば、入居者が好んで歌う歌は、職員も全部歌えるようにしている。 ・「職員のさんと一緒にどこかへ行きたい」というような、入居者一人ひとりの希望を叶えてあげたいと思っている。 ・地域の方が気軽に遊びに来たり、相談に来られるような、地域に開かれたグループホーム作りをめざしている。 		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・開所に当たっては、一人ずつゆっくり受け入れて、職員が付きっきりで馴染んでいただくように時間をかけ、落ち着いたら次の入居者を受け入れるようにしてきた。 ・職員は、常に入居者の側にいて、入居者と話をしたり、落ち着いた入居者がいたら一緒に散歩をするなどの対応をしている。 		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達		○
9	チームケアのための会議		○
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関・入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の生活歴や資格を把握し、経験が生かされるように支援している。看護師資格がある入居者には、血圧の記録係をしてもらったり、他の入居者の様子を見てもらったりしている。長年、接客業をしてこられた入居者には、運搬を手伝ってもらったり、お花の好きな入居者には花の手入れなどをしてもらっている。 ・面会時はカードに記入してもらい、個別の記録に續けてプライバシーの保護に配慮している。個人記録は、事務室できちんと保管している。 ・ドアを開けている時に居室の中が見えないように、暖簾を掛け、プライバシーに配慮している。 ・職員やボランティアに、守秘義務についての説明をし、家族にも同意を得ている。 		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・事故やヒヤリハットの報告書があり、事故発生や再発の防止に向けて、対策を検討している。 ・高齢者に起こりやすい症状や必要な知識についての資料を提供し、職員が自己研鑽できるように支援している。 ・介護福祉士資格を目指している職員がおり、ホームもバックアップしている。 ・サービスの質の向上に向け、ケアの方法を統一できるようマニュアルを作成中である。 		